

第10回定期演奏会

廉太郎の音楽を世界に届けた5年間
節目に奏でる世界と日本の2つの＜四季＞



2026

4 | 19日

ヴィヴァルディ / ＜四季＞

瀧 廉太郎 / ＜組歌四季＞

弦楽版：河野敦郎 編曲

コンサートマスター：朝来 桂一

竹田市総合文化ホール グランツたけた

＜廉太郎ホール＞

13:30 開場 14:00開演

※全席自由 4歳以上入場可・当日券全席500円増

一般:4,000円

竹田市民[竹田市内のみ販売]:3,500円

学生：1,500円

2026年1月31日 発売



ヴァイオリン 独奏

廣津留

すみれ

大分市出身。12歳で九州交響楽団と共演、高校在学中にZ・V・カーネギーホールにてソロデビュー。ハーバード大学在学中に世界的チェリスト、ヨーヨー・マ氏との度々の共演を経て、米国を拠点に演奏活動を展開。ハーバード大学卒業、ジュリアード音楽院修了。現在、国際教養大学特任准教授、成蹊大学客員准教授



©Ryutaro Kurokawa



廣津留 すみれ



大分市出身。12歳で九州交響楽団と共演、高校在学中にNY・カーネギーホールにてソロデビュー。ハーバード大学在学中に世界的チェリスト、ヨーヨー・マ氏との度々の共演を経て、米国を拠点に演奏活動を展開。自身の四重奏団を率いてリンカーンセンターやMoMA近代美術館にて演奏するほか、ワシントンDCのケネディセンターにて野平一郎氏と共演。TheKnightsとして録音したギル・シャハムとのアルバムがグラミー賞2022にノミネート。近年はソリストとしてデンマーク国立フィル日本ツアーへの出演のほか、全国でリサイタルツアーを開催。東京フィルハーモニー交響楽団など主要オーケストラとの共演をはじめ、ジャズトランペッターのクリス・ボッティとの海外公演やブエノスアイレスでのタンゴアルバム録音など、ジャンルを超えて活動中。「題名のない音楽会」「徹子の部屋」(テレビ朝日)「歌える！青春のベストソング」(NHK)などでの演奏も話題に。これまでに、辰巳明子、川崎雅夫の各氏に師事、室内楽をロナルド・コープス、ジョセフ・リンの各氏に師事。ハーバード大学卒業、ジュリアード音楽院修了。現在、国際教養大学特任准教授、成蹊大学客員准教授、第13期中央教育審議会委員。

RENTARO室内オーケストラ九州

ミュージックパートナー
古澤 巖

瀧廉太郎の街 大分県竹田市、竹田市総合文化ホールグランツたけたが2020年に開催した竹田版アーティスト支援事業に参加したアーティストを中心に2021年にTAKETA室内オーケストラ九州として誕生。これまでに九州全県、兵庫、大阪、名古屋、東京、仙台で公演を開催し、2023年瀧廉太郎120回目の命日には廉太郎がコンサートを行っていた旧東京音楽学校奏楽堂にて初の東京公演を開催。その模様はOBS大分放送制作の特別番組として全国放送され高い反響を得た。23/24シーズンより日本を代表するヴァイオリニストの1人、古澤巖がミュージックパートナーに就任、各地で年間4公演を開催。山下洋輔 (Pf) ポール・メイエ (Cl) リチャード・ストルツマン (Cl) エディゴメス (B) スティーヴ・ガッド (Dr) との共演など様々な公演を展開。クラシック以外の分野に於いてもDRUM TAO、中西圭三、八神純子との公演、落語など他ジャンルとのコラボレーションは大きな反響を呼んでいる。

23年8月には大分県佐伯市と連携協定を締結。教育機関や地域の公民館など、地方都市ならではの公演を協働で展開。9月より(一社)RENTARO室内オーケストラ九州として瀧廉太郎の音楽を世界に届ける活動を柱に地方都市の「関係人口創出」をテーマに県庁所在地以外の地方都市に積極的にオーケストラ音楽を届ける活動を本格化させる。

24年6月にはハンガリー・ブルガリアにてヨーロッパ公演を開催。東欧最大の音楽祭の1つであるソフィア音楽週間に招聘される。2025年韓国・ソウル、26年には佐伯市の友好都市ベトナム・ニンビン省での公演も開催。オーケストラの公演情報を発信するラジオ番組OBSラジオ「村津孝仁のオルケスタラジオ」CTSケーブルテレビ佐伯「音楽ゆるり旅」の制作協力などメディアとのコラボレーションも多く行っている。

2026年2月より大分県臼杵市とも連携協定を締結。



おかげさまで5周年！大分県唯一のプロオーケストラとして
瀧廉太郎の音楽を世界に発信、未来に紡いで参ります！

RENTARO
CHAMBER
ORCHESTRA
KYUSHU



最新情報は
こちらから



RENTARO Chamber Orchestra Kyushu